

野菜の栽培記録からの考察

綾川町内で栽培の地域差はあるか

気温

滝宮から綾上東分へ車を走らせると、表示される外気温は2℃から時には4℃も低くなる。

また、太陽が出ている = 日照時間も、平野部と谷筋や山裾とは顕著な差がある。

野菜は自然の恵みの産物だから、当然影響を受けるだろうと誰もが思うがどうだろうか。

例えば、米の栽培ではほぼ同時に育苗し、同日に田植えをしても綾上地区での刈り取りは7日ほど遅れるのが常で地域差はあるが、野菜作りにこのような違いが見られるのだろうか？

自然の流れに任せていた一昔前は、種まきや植付時期など多くの野菜に差があった。

綾上地区は、綾南に比べ春の植付は地熱が上がりにくいことから少し遅くなり、夏の播種や植付は早めに行っていた。

現在はどうだろうか・・・ 添付している資料 = 「野菜の栽培記録」 1,2 は滝宮での記録、3 は西分での播種や植付の記録である。この記録を重ねてみると十把ひとからげて、こちらが早いとか、遅いとかは見られないが、強いていえば、夏野菜の植付で明らかに低温被害を避けるために遅らせた野菜は、ジャガイモ、サツマイモ、ショウガ、等に見られる。また、冬野菜を早めに播種するものとして、白菜の中晩性、キャベツ、ソラマメ、エンドウ、黒大豆等があげられる。それ以外の種目は、綾上・綾南に差は見られない。

この理由として ① 多様なポリフィルムなど**農業資材の普及**によって温度管理が容易になったこと。

② 植物の持っている**性質を十分引き出す工夫**がなされたこと。

などによって両地区の気候に差を無くしている。例えばキュウリ栽培は四月中旬が平均的な植付だが、綾上地区はマルチ利用によって四月上旬に植付、さらに収穫の始まりを五月中旬(普通六月初)にまで早めている。

土質

もう一つの両地区の違いを極めて大雑把に分けると、河岸段丘や扇状地の多い砂質土壌の綾上と、台地上に広がる粘土質の綾南という見方がある。(丘陵部を切り開いた場所は両地区ともに粘土質土壌が多くあるが) この違いは「水はけ」の違いとして作物に多大な影響を持つ。綾上ではこれに加えて寒暖の差が大きく、その結果として「うまい米」の生産に繋がるなどの違いが見られている。野菜作りには、水を嫌うトマトやスイカとか、水を好むサトイモやショウガ、という相反する性質のものを扱うので、栽培等に違いがあるかということ・・・結論的には、この両地区の野菜作りに差は見られない。

この理由として ① **「土づくり」という概念の定着化(知識)**

② 先人達の努力による**土地改良(意識)**

そこにある土壌を生かしつつ、徐々に多品種への適応をさせる為の努力を間断なく行ったと思える。天然素材の落葉や草、堆肥の漉き込み、深耕、を繰り返す、例えば乾きの悪い畑は当面「高畝にして」しのぐなど、改良改善を積み上げて、作物に合った「畑づくり」を行った賜物なのである。

野菜の栽培記録(春夏) 1

日付は右へ 播種、植付 収穫の順、
 ②: 播種2回目 購: 購入苗

種目	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コーン ①		3.6 3/23			6/16~						
②		29	4/13		6,25						
③			4.19	5/5		7,14~					
トマト 購			4/16			上旬~					
①	2.26		4/16		下旬						
菊メロン①			4,4	5/6		中旬					
②			4.19	5/20		下旬					
③			(4.25	5/20			上旬)				
すいか ①	(2.26)		4/16			上旬~					
購入苗			4/18			上旬~					
なす 購入苗			4/16		中旬~						
キュウリ "			4/16		上旬~						
山の芋	2.25									上旬	
じゃがいも類	2.25										
枝豆				5,8 5,15		7,20	上旬				
サツマイモ			4/25				中旬				
カボチャ①			4,4	5,2		7/29					
購入苗			4/16			上旬					
しろうり			(4/16)		上旬						
シヨウガ			4/26							中旬	
黒大豆					6.14 6.29					下旬	
白大豆					6.28					下旬	

いんげん、4.19 サトイモ、4/25 ごぼう 4.18 ピーマン 4/16 ゴーヤ 4/16 あずき 7/15

野菜の栽培記録(秋冬)2

日付は右へ 播種、植付 収穫の順、

②: 播種2回目

購: 購入苗

種目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
大根① ②			9.5	10.1	収～				～収		
かぶ① ②			9.5	10.1		収～		～収			
人参① ②		8.15	9.20			収～		～収			
ごぼう			9.1			収～					
白菜 ① 早生		8.15	9.8		収～						
② 中晩			9.8 9.26			収～					
③ 晩生			9.8 9.26				収～		～収		
キャベツ 早生		8.15	9.8			収～					
② 中晩			9.10	10.5			収～				
ブロッコリー①		8.10	9.8			収～					
②			9.15	上旬				収～			
菜花 ① 早生			9.10 9.27			収～					
② 中晩			9.25	10.15			収～				
ホーレンソール① ②			9.5	10.1	収～		収～				
レタス ①		8.25	9.3 9.20	10.1	収～			リーフ		種 植付	収
②			9.20	10.中旬	トンネル	二重	収～				
高菜(まんば)			9.20	10.中旬		収～					
じゃがいも			9.5		収～						
カボチャ		8.1		収～							
いんげん		8.1									
ソラマメ				10.25	11.10						収～
エンドウ				10.30	11.15						収～

コマツナ

11.中旬

タマネギ 9.20～10.1

春菊 9.10～

9月下旬

葉ゴボウ

野菜の栽培記録3

作物別、季節ごとの栽培と輪作体系

品目	播種	植え付け	生育期間	収穫期間	後作
馬鈴薯		3月25日	～	6月10日	軟らか瓜
牛蒡		3月25日	～	7月10日 ～ 3月25日	牛蒡
蓮根		3月26日	～	8月15日 ～ 3月25日	蓮根
なす		4月8日	～	6月13日 ～ 11月30日	玉葱
きゅうり		4月8日	～	5月14日 ～ 10月30日	玉葱
トマト		4月8日	～	6月13日 ～ 7月30日	インゲン
西瓜		4月8日	～	6月26日 ～ 9月10日	大根
里芋		4月10日	～	8月20日 ～ 11月30日	
南京	4月9日	5月7日	～	8月5日 ～ 10月20日	大根
インゲン	4月12日		～	6月15日 ～ 8月30日	秋馬鈴薯
金時豆	4月12日		～	7月5日	小豆
白菜	4月12日	5月12日	～	6月10日 ～ 6月25日	キャベツ
レタス	4月12日	5月12日	～	5月30日 ～ 6月25日	白菜
さつまいも		5月5日	～	8月15日 ～ 9月20日	大根
ショウガ		5月15日	～	10月20日 ～ 11月30日	
ネギ		5月28日	～	7月10日 ～ 4月20日	ネギ
軟らか瓜	5月8日	6月8日	～	7月15日 ～ 8月30日	秋馬鈴薯
黒大豆	5月25日	6月4日	～	11月5日 ～ 11月20日	
小豆	7月15日	7月30日	～	10月20日	ほうれん草
人参	8月5日		～	9月15日 ～ 3月30日	レタス
キャベツ	8月10日	9月10日	～	11月10日 ～ 5月30日	ネギ
ブロッコリー	8月10日	9月10日	～	11月10日 ～ 5月30日	ネギ
白菜	8月15日	9月20日	～	11月20日 ～ 2月28日	きゅうり
レタス	9月5日	10月10日	～	11月30日 ～ 2月28日	トマト
馬鈴薯		9月1日	～	11月10日	ソラマメ
大根	9月10日		～	10月20日 ～ 2月28日	ナス
玉葱早生	9月20日	11月10日	～	6月10日	
玉葱	9月20日	11月10日	～	5月30日	
ソラマメ	10月20日	11月5日	～	5月20日 ～ 6月5日	
エンドウ	10月20日	11月5日	～	5月15日 ～ 6月5日	
キヌサヤ	10月20日	11月5日	～	5月10日 ～ 6月5日	
菊菜	自然発生の苗	11月5日	～	12月25日 ～ 3月30日	
マンバ	自然発生の苗	11月5日	～	12月25日 ～ 3月30日	
フキ	永年作物		～	3月20日 ～ 6月10日	
ワラビ	永年作物		～	4月1日 ～ 6月30日	
花みょうが	永年作物		～	6月30日頃	

発芽を良くする蒔き方

～かたくて丈夫な苗が95パーセント以上育つ～

育苗土（苗床）は、花崗土と培土を1：1の割合で混ぜ合わせ（配合）してポットに9分目ほどいれ、水をたっぷりかけ水が引いたら種子を蒔く。その上に、細かい川砂を種子が隠れる程度の2～3ミリふる。その上に新聞紙を1枚置き、風で飛ばされないように網をかけ、その上からジョウロで水をかける。新聞が乾かない程度に時々水をかける。2～3日すると95%以上発芽する。新聞紙2枚だと失敗する。10日～二週間すると本葉が出てくる。その時に、固形肥料を1粒だけ中心にやる。

生ゴミによるコンポストの作り方

生ゴミなどの有機物は「タンパク質、炭水化物、脂質、繊維質」などの有機物が大半。残りの少量は「カルシウム、リン、硫黄、カリウム、ナトリウム、鉄、マグネシウム」などの無機質からなる。

微生物菌は有機物を水、炭酸ガス、窒素化合物、に分解する。好気性発酵分解菌を中心に嫌気性菌と共に分解作用をする。（環境にやさしい作用）

好気性菌：放線菌、枯草菌、糸状菌、リグニン・セルロース分解菌など

嫌気性菌：光合成菌、EM菌など

中間性菌：発酵菌

安価な生ゴミ処理方法はコンポスト発酵方式。

発酵条件

・ 温度・適度の水分・窒素、酸素、攪拌

窒素を高める資材：米ぬか、油かす（菜種かす）、魚粉など

タンパク質が多いほど臭みが強くなる。

米ぬかやコーヒーカスを時々入れると臭みが抑えられる。

栽培種を選択と難易度

原点 ① 食べたいもの ② 作ってみたいもの ③ 貯蔵ができるもの
④ 家の人が望むもの ⑤ 珍しいもの

選択 A この地域で作られているもの B その時期にあった品種もの
C 栽培がやさしいもの D 挑戦したいものへ

容易なものから

ア、短期間で収穫

いんげん こまつな レタス こかぶ しゅんぎく
そらまめ さつまいも 細ネギ ナバナ まんば
ショーガ たまねぎ わけぎ

イ、注意深く行えば

なす キューリ ピーマン ハクサイ ニンジン
キャベツ 大根 エンドウ類 白黒大豆 枝豆
里いも 山の芋 深ネギ カボチャ ジャガイモ
ブロッコリー ニンニク 葉ゴボウ コーン

ウ かなり気配り

トマト
結球レタス
すいか
ごぼう
メロン



鳥害対策（カラス）

作物の被害は、猪を始めハクビシン、アライグマ、などの動物やカラス、ハト、スズメなど鳥類の被害も無視できない。

これらの原因は、人による自然環境の変化や温暖化による生態の変化等があげられる。特に猪は、山間部での耕作放棄を起し人里にまでその影響は拡大しつつある。ここでは、野菜作りにとっての鳥害、特に「カラス」対策に絞って要点を記載する。



1 カラスの生態

- ① **どこでもいる** 高山以外すべてで住む、平地の多くはハブト、ハシボソの二種、この近辺では「ハシボソカラス」・ゴア～ゴア～と鳴く。
- ② **なんでも食べる** スイカ、まめ類、昆虫、人間の残飯、動物の死骸、他の鳥の卵やヒナ、など雑食性・・・町の汚し屋かまたは、掃除屋か？
- ③ **いつでもいる** 通年「縄張り」を持ち繁殖期以外は共同の^{ねぐら} 埒に集う。
- ④ **学習ができる** よく観察し、状況に合わせて生活する。弱いものいじめもする。
- ⑤ **記憶がいい** 蓄食場所の記憶、人間の記憶より良い。
- ⑥ **伝達ができる** 言葉を持ち、仲間への危険伝達等を行っている。
- ⑦ **共同作業ができる** 社会性を持ち目的によっては共同することができる。
- ⑧ **遊びを持っている** 知能の発達した動物である。

2 対策

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ① 「危険だ逃げろ!!」の音声を聞かせる。 | 不定期にしても慣れてくる。 |
| ② 仲間の死体を吊るす。 | 死を悼む文化がないので効果なし。 |
| ③ 磁気は渡りの道しるべ。(磁気ベルト) | カラスは感じない。 |
| ④ 爆発音は嫌い しかし・・・慣れる。 | 不定期にする。 |
| ⑤ 人間に近づくと危険であると思わせる。 | つぶて。 |
| ⑥ 人が不可解なものは カラスも不思議なもの。 | 黒の吹き流し。 |
| ⑦ 羽に物が当たるとマズイと思う 長期で学習。 | テグス、 不規則性。 |

- ⑧ 糸と鈴・・・タイマーで不規則に。
- ⑨ 赤い布をやたらと置く。
- ⑩ ペットボトルに窓を開け木酢液の原液を 100ml 入れて吊るす。
- ⑪ 防鳥網をしっかり張る。

カラス、ハト、スズメ、ムクドリ、コサギ、

果物の効能

品名	特徴	効能
アボガド	森のバターと呼ばれるほど栄養価が抜群。中南米では古代アステカ時代から「生命の源」と呼ばれている。植物性脂肪なのでコレステロールの心配は有りません。ビタミンA、B1・2、C、D、E、ミネラル(灰分、カリウム)。	癌、血圧降下、のぼせ、動脈硬化、美肌効果、老化予防
イチゴ	ビタミンC、ミネラル、ブドウ糖、クエン酸、リンゴ酸、少しの量でビタミンCが豊富で、4～5粒で1日の所要量を満たします。	美肌効果、ストレス、癌、風邪、気管支炎などの呼吸器病に有効、顔の血色が良くなり、皮膚も美しくなる有効成分、肝細胞の機能を良くする。シミ・そばかす、歯茎の出血(歯槽膿漏)、妊婦・貧血・タバコを吸う人にお勧め。
イチジク	古くから薬用に利用され、第6の栄養素、食物繊維が多く含まれています。ビタミンB1・2、カロチン、ベルガプテン、プソラレエン(血圧を下げる)	消化促進、整腸作用、便秘、高血圧、口内炎、扁桃腺炎
オレンジ	ビタミンA・B1・2・C、ニコチン酸、カロチン、リン、鉄、ナトリウム、カルシウム。	風邪の予防、二日酔い、便秘、美肌
キウイフルーツ	ビタミンB6・C・E、カリシウム、マグネシウム、鉄、銅、リン、葉酸、パントテン酸、ピクチン、アクチニジン、(肉類の消化を助ける)、プロテアーゼ、ペクチン、カリウム、食物繊維は大変多く、愛煙家にお進めの栄養たっぷり。ビタミンCやタンパク質分解酵素のアクチニジンを含む。	便秘、消化促進、コレステロール、美肌効果、栄養過剰病(痛風、脳卒中)の予防、便秘、消化促進、(胃もたれ)、疲労回復、美肌、風邪予防、ビタミンCトップクラス(種にも栄養素が含まれている)、妊婦・貧血・タバコを吸う人にお勧め。
クルミ	ビタミンB1・2・E、リノール酸	強壮、強精、元気をつけ、肌を潤し、髪を黒くする。中国では「クルミを食べると頭が良くなる」
グレープフルーツ	ビタミンB1・C、ペクチン、カルシウム、ミネラル、微量元素を含みます。	食欲増進、肌荒れ、ストレス、風邪、血管病(脳卒中・血栓)を予防、疲労回復、二日酔い(解毒作用)、不眠、美肌
スイカ	汁を煮詰めた「スイカ糖」は、古くから肝臓病の薬として用いられて来た。カリウムが多く含まれています。	腎臓の薬になるほどの利尿作用、むくみ
ナシ	ミネラルをバランス良く含む。クエン酸やアスパラギン酸も含まれます。	消化促進、疲労回復、咳、のぼせ
パイナップル	ビタミンB1・C、クエン酸(疲労回復)、タンパク質分解酵素のプロメリンやビタミンB1、食物繊維を多く含む。	消化促進、便秘、疲労回復、独特のタンパク質分解酵素(プロメリン)が肉食の弊害を防ぐ、プロメリンは気管支炎のタンを分解して出しやすくする。風邪、気管支炎、脳卒中、心臓病、痛風。
バナナ	栄養価が高く、体力が落ちている時の栄養補給に、1本でお茶碗1杯分のエネルギーがあります。カリウム、食物繊維を多く含みます。	エネルギー補給、疲労回復、滋養強壮、高血圧、便秘、肌荒れ(吹き出物)、解熱
ブドウ	ビタミンB1・2・3・C、甘み成分のブドウ糖と果糖は、体内ですぐにエネルギーになる。皮と種に薬効あり。	ポリフェノールの「抗酸化作用」は悪玉コレステロールの酸化を防ぎ血小板が固まるのを防ぐ事が確認されている。疲労回復、不眠症、エネルギー補給、疲労回復、動脈硬化
ミカン	ビタミンA・C・P、ミネラル、クエン酸、カリウム、ペクチンやオレンジ色の色素や薄皮にビタミンPを含む。	手足の肌荒れによく、血管の老化や出血を予防する。血管を丈夫にする。高血圧、脳卒中、動脈硬化、風邪の予防、疲労回復、便秘、美肌紫斑症、凍傷、潰瘍、二日酔い(解毒作用)、美肌、癌予防に効果有り。
リンゴ	クエン酸、リンゴ酸が含まれ、食物繊維のペクチンやカリウムが含まれ、強い解毒作用で食中毒予防	便秘、下痢、高血圧、動脈硬化、リンゴ酸は体内の炎症を癒し、浄化する。肝臓病、腎臓病、リュウマチ、痛風、動脈硬化症、心臓病、湿疹、肥満、糖尿病、癌予防、疲労回復、美肌、「1日1個のリンゴは医者を選ばない」。
柿	薬効たっぷりの秋の味覚。ビタミンA・Cタンニン、ペクチン、カロチン(β-クリプトキサンチン)。ビタミンCは1個で1日の所要量を満たす。干し柿は食物繊維とカリチンが多く含まれます。	風邪、利尿作用、便秘、二日酔い予防、高血圧、脳卒中、乗り物酔い、痛風、夜尿症、※タンニンが鉄分の吸収を妨げるので貧血症・妊産婦、にはお進め出来ません。
青梅	ビタミンE、クエン酸、リンゴ酸、アミグダリン	強アルカリ性なので健康によい、整腸、疲労回復
モモ	タンパク質、糖質、鉄、カリウム、カルシウム、マグネシウム、ヨウ素、ホウ素、臭素、ペクチン(急激な血糖値の上昇を抑える)、クエン酸、リンゴ酸が含まれ食物繊維のペクチンが豊富です。	ダイエット、妊婦、貧血、タバコを吸う人にお勧め。急激な血糖値の上昇を抑える。

野菜の効能

品名	特徴	効能
トマト	注目成分:リコピン、ビタミンC・B6・カテロン、カリウム、ルチンを含む、食物繊維を含む。	動脈硬化予防、疲労回復、癌予防。便秘予防、活性酸素除去、リコピン(生活習慣病予防)、
カボチャ	注目成分:カテロン、ビタミンC・B1・2、E、、カルシウム、鉄を含む。西洋カボチャはトップクラスの栄養価を誇る。カテロンは肌や粘膜、目を丈夫にして、免疫力を高める。ビタミンEは血行を促進し体を温めるので冷え性の改善に効果あり。	活性酸素除去、動脈硬化予防、肌荒れ予防、肩こり改善、冷え性改善、風邪予防、血圧正常、強壮、烏目、角膜乾燥予防、糖尿病予防
キャベツ	ビタミンC・U、カルシウム、カテロン、イソチオシアネートは高い抗ガン性が注目されている。(キャベジン)はビタミンの別名)整腸作用が強く胃潰瘍・胃炎の予防、外用の紫色はアントシアンでうま味が増している。	便秘解消・胃潰瘍・胃炎予防、癌予防、美肌作り、肥満予防、疲労回復、
サヤインゲン	タンパク質、カテロン、ビタミンB群・C、カリウム、カルシウム、抗酸化作用が高いカテロンが多い。アスパラギン酸、リジンも含まれていて疲労回復や美肌作りの効果も高い。	抗酸化作用・粘膜の強化、疲労回復、美肌作り
ジャガイモ	デンプン(糖分)、ビタミンC・B1・カリウム、ナシアシン	発汗、解熱、鎮痙作用、喉の渇きを癒す、下痢、更年期障害、骨粗しょう症、糖尿病、乳ガン、子宮癌、前立腺癌の治療。
ニンジン	カロテン(ビタミンA)、ビタミンC・カリウム、カルシウム等を含み栄養価も高い。	癌予防、動脈硬化、美肌作り、粘膜を強くする。夜盲症防止
タマネギ	サイクロアリン、ポリフェノール、ケルセチン(ビタミンP群)、硫化アリル、ビタミンA・B1・B2・C、鉄、カリウム、カルシウム、リン、紀元前2500年前エジプトで薬用として利用されていた。	血小板凝集抑制、動脈硬化抑制、血糖値低下、発ガン抑制、心筋梗塞、脳梗塞抑制、加熱で解毒代謝作用、糖尿病、高血圧、胃弱、食欲不振、風邪、扁桃炎、下痢、便秘、出血、筋肉疲労回復、精力減退、精神不安、不眠症、アレルギー体質改善、神経痛、虫下し、やけど、虫さされ
高菜	食物繊維、ミネラル(カルシウム、リン、鉄)、リグニンの辛みが食欲増進	大腸癌予防、神経痛、便秘、動脈硬化
キュウリ	カリウム、ナトリウム、フラボン系成分、水分が多いため消炎作用、利尿作用、肌荒れ、シワ防止	シワ防止、肌荒れ、むくみ、利尿、やけど、日射病
ダイコン	食物繊維、ミネラル(カルシウム等)を豊富に含む。ジャスターゼ(デンプン分解酵素)で消化を助ける。	風邪予防、癌予防、肩こり、打ち身治療、脳出血、高血圧、糖尿病の予防、視力低下、痰の絡み防止、夏バテ防止、疲労回復、ニキビ、吹き出物予防、胃弱、便秘、利尿作用、
小松菜	カロチン、ビタミンA・C、カリウム、カルシウム等細胞の増殖で皮膚、骨、血液、粘膜の発達を促し健康にします。	風邪予防、強壮、骨の老化防止、精神安定作用、成人病予防、視力低下防止、角膜の乾燥防止、動脈硬化、
大豆	トリプシンインヒビター、レシチン、ビタミンE、コリン、サポニン、ゲニスチン、鉄、タンパク質、銅、マンガン、食物繊維、リノール酸	癌、成人病(糖尿病、動脈硬化、肥満、肌の老化防止、脳卒中、心筋梗塞等)、血行作用による肩こり改善、更年期障害、生理不順、脂肪肝防止、貧血、便秘、
米(胚が米)	ビタミンA、B1・2・6・E、リノール酸はコレステロールを取り除く、	脚気予防、糖尿病、皮膚病予防

野菜果物の効能出典は、インターネット ローカロ生活通信販売から引用しています。

体調管理

- 初期 筋肉痛、関節痛、少し進んで筋肉や関節の腫れ。
中期 肩こり、腰痛、ひざの痛み、扁桃腺、風邪気味。
後期 肉離れ、熱中症、心筋梗塞、気だるさ、やる気のなさ。

原因は、「健康を維持し美味しく食べ少し役立ちたい」という初期の目的を忘れ成果を求めすぎるため。

- 対策
- 1 寒暖を我慢しない。帽子、着衣に気を遣い、また肌を出さない。
 - 2 一日の作業量の限度を知り作る。明日に回せるものは明日へ。
ズボラが最高。
 - 3 マイ水筒で命の水。
 - 4 断続的作業を・・・疲れる前に休息と内容の変化。
 - 5 省エネを常に心がける、道具の利用、軽量化。
 - 6 過信は禁物。 下り坂・転がり坂。
 - 7 夏は午睡を。
 - 8 三余に学ぶ。 夜・雨・冬。

参考文献

うちんくの野菜づくり
失敗しない野菜作り入門

香川県農協
主婦の友社

野菜づくり入門	農文協
野菜づくりの Q&A	家の光社
野菜のビックリ教室	農文協
家庭菜園ビックリ教室	農文協
野菜の輪作栽培	農文協
現代農業(月刊誌・別冊)	農文協
用土と肥料の選び方使い方	農文協
家庭菜園全科 1 葉もの・茎もの類①	農文協
〃 全科 2 〃 ②	農文協
〃 全科 3 根もの・いも類	農文協
〃 全科 4 果菜・莢もの類	農文協
〃 全科 5 雑穀・マメ類	農文協
果樹 62 種育て方楽しみ方	農文協
果樹育て方と失敗しないコツ	西東社
図解最新果樹の剪定	農文協
モモの作業便利帳	農文協
リンゴの作業便利帳	農文協
本物の野菜づくり その見方・考え方	農文協
カラス	農文協
キラリ(家庭菜園)	香川県農協
基礎からわかる！野菜の作型と品種生態	農文協
趣味の園芸やさいの時間	NHKテレビテキスト
主要農作物病害虫・雑草防除指針	香川県
主要野菜栽培指針	香川県
はじめてでもできるおいしい果樹の育て方	家の光協会
タキイ最前線	タキイ種苗株式会社
花と野菜ガイド	タキイ種苗株式会社
はなとやさい	タキイ種苗株式会社
いまなぜ土づくり	全国環境保全型農業推進会議